

2022年上半期分 羽田空港貨物取扱量

1. 概要

2022年上半期の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

積込量	78,852トン	(前年同期比	30.0%減)
取卸量	80,374トン	(同	18.7%減)
総取扱量	159,226トン	(同	24.7%減)

となり、前年同期比で積込量、取卸量、総取扱量全てにおいて減少となった。

2. 通関官署別動向について

(1) 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関官署別にみると、

羽田地域通関	5,566トン	(前年同期比	6.3%減、シェア	11.9%)
その他地域通関	41,047トン	(同	22.8%減、同	88.1%)

となっており、前年同期比で羽田地域通関分、その他地域通関分ともに減少となった。

(2) 輸入量

羽田空港において輸入された貨物量を輸入通関官署別に見ると、

羽田地域通関	22,453トン	(前年同期比	18.9%減、シェア	44.4%)
その他地域通関	28,109トン	(同	11.1%減、同	55.6%)

となっており、前年同期比で羽田地域通関分、その他地域通関分ともに減少となった。

3. 仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量	32,239トン	(前年同期比	39.7%減)
取卸量	29,812トン	(同	24.7%減)

となっており、前年同期比で積込量、取卸量ともに減少となった。

4. 生鮮・ドライ取卸貨物動向 (その他地域通関分を除く)

2022年上半期の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別でみると、

生鮮貨物 5,194トン(前年同期比 7.5%減、シェア23.1%)
ドライ貨物 17,259トン(同 21.8%減、同 76.9%)
となっている。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

(単位：トン)

		2022年上半期		2021年上半期	
羽田空港輸入貨物量		22,453	(81.1%)	27,702	(94.1%)
内 訳	生鮮貨物量	5,194	(92.5%) [23.1%]	5,618	(115.7%) [20.3%]
	ドライ貨物量	17,259	(78.2%) [76.9%]	22,084	(89.8%) [79.7%]

注 ()内は前年同期比、[]内は構成比である。

※この資料は再国際化以降についてコメントしています。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。